

「わたしのまちの地域包括ケア」

開催報告

平成27年11月7日（土）に第17回刈谷連携キャンパスを開催いたしました。

「わたしのまちの地域包括ケア」と題し、刈谷市長寿課の前田氏、刈谷市社会福祉協議会の高木氏にご講演いただき、当院の役割を地域医療・総合相談センター 副センター長の鈴木がお話しました。

なぜ、地域包括ケアなのか、という話は、最近さまざまな研修会で聞く機会が多いかと思いますが、具体的に何がどのように進んでいるのか分かりませんでした。また、厚生労働省は、各市町村でその特徴に合った地域包括ケアシステムの構築を推進しており、まさに「わたしのまち」はどうなっているのか、を知るよい機会となりました。



今回、初めて外部講師をお招きし、医療や介護の実践的なテーマではなく、概念的な会といたしました。目の前の患者さんや利用者さんの今すぐ解決したい課題も大切ですが、私たちが何を目指して、どこへ向かっていくのか、の共通意識をもつことも多職種連携には必須です。そして地域包括ケアシステムは、医療介護だけの問題ではなく、「地域づくり」といわれています。

この会は、今年度より「KRC（刈谷連携キャンパス）」と名称を変えました。リハ・ケアに特化せず、保健・医療・福祉の分野での知識・技術を多職種で学習し、共有することによって、患者・利用者・家族が安心して地域の中で生活できることを目的としています。今後ともよろしくお願い致します。

リハビリテーション科
作業療法士 早川 淳子